

兵庫県議会 公明党・県民会議 実績紹介

兵庫県が兵庫県議会 公明党・県民会議議員団の要望等を受け、実施した施策等を紹介します 2020.04

国の私立高校授業料の実質無償化を兵庫県独自に拡充！

兵庫県私立高校等生徒授業料軽減補助



概要

令和2年4月から、国により私立高校授業料の実質無償化がスタートします。具体的には、年収590万円未満の世帯に対して、全国の私立高校の平均授業料39万6千円を上限として、就学支援金が支給されます。これにより、私立高校の授業料が全国平均以下の場合は無償となります。

しかし、兵庫県の私立高校の平均授業料は40万8千円で、全国平均よりも1万2千円高いこと、年収590万円を超す世帯に対する就学支援金がこれまでどおり11万8800円で、大きな支援額の格差があることが課題でした。そこで、国の私立高校授業料の実質無償化制度に、兵庫県独自の拡充を行うことを実現しました。全国の私立高校授業料平均額と兵庫県の私立高校授業料の平均額の差額12,000円を埋めるとともに、年収590万円以上730万未満世帯には国の就学支援金11万8800円にプラスして10万円を上乗せ、年収730万円以上910万円未満世帯には5万円を上乗せする拡充制度を実現しました。

https://web.pref.hyogo.lg.jp/kk35/pa15_000000008.html

取り組み

現在、中学校卒業後の高校などへの進学率は99%近くになっていますが、授業料が実質無償化されている公立高校を希望していてもかなわず、あるいは、経済的な理由で希望する私立高校をあきらめるケースは少なくありません。こうした公私間の負担格差を是正するため、公明党は、前回の衆院選(2017年)で、「私立高校授業料の実質無償化」を公約に掲げ、政府にねばり強く働きかけてきた結果、2020年4月から私立高校授業料の実質無償化が実現しました。

兵庫県議会公明党は、兵庫県の私立高校授業料の平均額が全国平均よりも1万2千円高いこと、年収590万円以上の世帯に対する支援策との差が大きいことから、県独自の拡充策が必要であることを2020年度予算編成に向けた「重要政策提言」、「予算要望」の最重点項目として井戸知事に要望するとともに、県議会本会議の代表質問でも必要性を訴えた結果、実現することができました。